

## 1 取組名称

数理科学を基盤とした理工横断型人材育成システム

## 2 取組組織等

理工学研究科・数理情報科学専攻

理工学研究科・電気電子工学専攻

理工学研究科・機械工学専攻

## 3 取組実施代表者名

理工学研究科数理情報科学専攻・教授・倉田和浩

## 4 取組期間

1年間（平成24年度）

## 5 取組の概要

文部科学省の「組織的な大学院教育改革推進プログラム」に採択された「理工横断型人材育成システムの再構築」（平成21年度～平成23年度）において評価の高かった

- ・数電機横断セミナー（キャリアパスセミナーを含む）の運営
- ・大学院生による理工数学相談室や数電機クリニック活動の支援
- ・事前・事後指導の充実した学生の国際会議派遣・海外研修の支援

を発展させ、継続する。これらの取り組みを通して、理工の学生間の交流をさらに促進させるシステムの定着を図ること、それぞれの専攻での軸となる教育・研究活動をふまえた上で、数理科学と工学の双方における発想および思考を理解し、俯瞰的な視野を持った実践力の高い人材育成システムを推進することを目的とする。理学のみならず工学および産業において活躍できる骨太な人材育成のためには、確かな数理科学の基礎力、発想および思考力の強化が不可欠である。本取組は、その意味で広く数理科学を基盤として理工交流および理工連携教育の促進を図るものである。

## 6 事後評価での総合評定

目的はほぼ達成された

## 7 事後評価に関する教育改革推進事業提案審査会での主な意見

- ・数理科学と工学の交流により、教育効果が相乗的に高まることが期待でき、広い視野をもった学生が増えることが望めると思う。
- ・本取組の一つである国際会議派遣はやや異質に見えるので、別プログラムであった方が良かったのではないか。